



2020年6月30日

各 位

会社名 日本農薬株式会社
 代表者名 代表取締役社長 友井 洋介
 (コード: 4997、東証第1部)
 問合せ先 管理本部総務・法務部長 永井 統尋
 (TEL. 03-6361-1400)

2020年3月期決算発表の日程および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当社およびインドの連結子会社における決算および監査業務に遅れが生じたため、2020年3月期決算発表を延期しておりましたが、この度、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

また、2020年3月17日に公表した通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 決算発表日

2020年7月9日(木)

2. 通期連結業績予想の修正について

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	35,400	2,700	2,700	400	5円08銭
今回発表予想(B)	35,600	4,000	4,000	1,400	17円77銭
増減額(B-A)	200	1,300	1,300	1,000	
増減率(%)	0.6	48.1	48.1	250.0	
(ご参考) 前期実績 (2019年9月期 第2四半期)	37,186	4,092	4,082	2,981	37円85銭

(注) 2020年3月期は、2019年10月1日から2020年3月31日までの6カ月間となることから、「(ご参考) 前期実績」には、2019年9月期第2四半期の実績を掲載しております。

3. 通期連結業績予想の修正の理由

海外農薬販売において、新型コロナウイルス感染拡大に伴いインドで実施された都市封鎖の影響により、同国の連結子会社で3月単月の販売が落ち込んだ一方、米国では新型コロナウイルス感染拡大による流通への影響懸念などを背景に3月後半より荷動きが早まったことから、同国の連結子会社にて翌期向けの在庫が前倒しで出荷され、販売が増加しました。これらの結果、売上高は前回発表予想から微増となりました。利益面では、前述のとおり在庫の消化が進んだことや販管費の改善などから、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を上回る見込みであります。

なお、上記のとおり、2020年3月期の連結業績は、利益面で前回発表予想を大きく上回る見込みですが、2020年3月17日付「特別損失(のれんの減損損失)の計上、通期連結業績予想および配当予想の修正ならびに役員報酬の減額に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、ブラジルの連結子会社に係るのれんの減損損失を計上することから前年同期比で大幅減益の見込みです。これに伴い、2020年3月期における当社の個別業績においても、同社に係る関係会社株式評価損の計上により、当期純損失を計上し、純資産が減少する見込みであることから、2020年3月期の期末配当は、2020年3月17日に公表したとおり、1株当たり4円とさせていただきます。

(ご参考：2020年3月期の個別業績の見通し)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
2020年3月期見通し	21,700	2,900	3,200	△3,600	△45円70銭
(ご参考) 前期実績 (2019年9月期)	36,060	1,965	2,378	2,284	29円00銭

(注) 2020年3月期は、2019年10月1日から2020年3月31日までの6カ月間です。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上